



キーワードは オンデマンド・ビジネス



日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア事業 Tivoli事業部
事業部長 日野 義久

IBMは今、「オンデマンド・ビジネス」を推進するお客様を積極的にご支援しております。

オンデマンド・ビジネス環境で求められるIT基盤管理としては、予測不可能な環境変化への迅速で適切な対応、異機種混在なIT環境の効率的活用、IT基盤管理のトータル・コストの削減、サービスレベルの維持・向上の実現などがあげられます。

Tivoliでは、このオンデマンド・ビジネス時代のお客様のニーズにお応えするために、先進テクノロジーであるIBM Tivoli Intelligent Orchestrator (以下Tivoli Orchestrator)を、この7月に日本市場に投入いたしました。同時に「IBM Infrastructure Orchestration」というパッケージ・ソリューションを発表しました。このソリューションは、Tivoli Orchestrator にIBMのハードウェア (IBM BladeCenter™)とミドルウェア (IBM WebSphere® Application Server, IBM DB2® UDB 等)を予めパッケージングしてあり、皆様に直ぐにご利用を開始いただけるようになっています。

7月に開催された「Tivoli Orchestrator 新バージョン発表会」には、230名を超えるたいへん多くのユーザー企業の皆様にご参加いただき、オンデマンド・ビジネスへの関心の高さを改めて実感いたしました。また、すでに住商情報システム株式会社様に自社のデータセンター・サービスでご採用をいただいております。大変心強いことです。

Tivoliは常に「先進的な技術」をご提供する一方で、ユーザー企業の皆様の直近ニーズに的確なソリューションを提供することにも注力しています。

例えば、来年4月に具体的な罰則規定が施行される個人情報保護法下では、ITを利用する全従業員にIDを配布し管理することが不可欠となります。セキュリティ製品であるTivoli Identity Managerは、このような状況下で「ID管理の自動化」をご提供し皆様のID管理のTCO削減をご支援します。

またTivoliは、今後も時代の求めるソリューションを続々とご提供していきます。そのために、高い技術力を持つ企業と戦略的な提携や事業統合を進めていきます。直近ではシスコシステムズ社とネットワーク・セキュリティ分野で広範囲に提携いたしましたし、ホストのシステム管理分野で定評あるOMEGAMON® 製品を持つCandle®社や、Webアプリケーションのパフォーマンス管理を担うCyanea社の買収を完了しました。ますます充実するTivoliのシステム管理ソリューションにご期待ください。

最後に、11月10日～12日に開催される「Gartner SYMPOSIUM/ITXPO2004」をご紹介します。米国IBMよりオンデマンド・オペレーティング環境推進の担当副社長Sandy Carterが来日し、Tivoliの重要性に焦点を当てた、オンデマンド・ビジネスを支えるオンデマンド・オペレーティング環境について講演させていただきます。是非、多くの皆様にご参加くださいますようお願い申し上げます。